



東地申第2号 「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について」に関する申し入れ団体交渉を実施⑥

【池袋統括センター】

10. 乗務ユニットの業務内容等に変更がある場合は具体的に示すこと。

回答：現在、池袋運輸区が担当している業務については、引き続き池袋統括センターにおいて行うこととなる。なお、これまでの硬直的な仕事の垣根を超えた柔軟な働き方を実現するとともに、系統や事業分野を超えた業務に取り組み、社員の活躍フィールドを広げていく考えである。

(組)統括センター後、その他時間は今までと変更があるのか？

(会)変更はない。【確認】

(組)その他時間以外に業務を拡大する事はないか。

(会)特にない。

(組)池袋は事務社員の増減がない。働く場所をローテーションで変えていくのか。

(会)直ちにない。環境を整備出来れば、働く場所をローテーションするなど考えている。それ以外変化はない。【確認】

(組)委員会活動は変わるのか？

(会)変わらない。融合出来るところは出てくる。

(組)エリアユニットで働く可能性はあるのか？

(会)同じ統括センターであれば可能性はある。【確認】

11. 各駅の業務内容等に変更がある場合は具体的に示すこと。

回答：現在、池袋営業統括センターが担当している業務については、引き続き池袋統括センターにおいて行うこととなる。なお、これまでの硬直的な仕事の垣根を超えた柔軟な働き方を実現するとともに、系統や事業分野を超えた業務に取り組み、社員の活躍フィールドを広げていく考えである。

(組)各駅で変化するところはあるのか？

(会)変わらない。事務担当は乗務員職場との融合はある。【確認】

(組)作業ダイヤは変わるのか？

(会)変わらない。【確認】

12. 出面数が増えた理由及び該当する業務に対する今後のビジョンを具体的に示すこと。

回答：施策実施後の年間を通じた平均的な業務量を勘案したものである。引き続き、系統を超えて新たな価値創造を一層推進し、社員一人ひとりの成長意欲に応え活躍フィールドを拡大させ、新たな価値創造・課題解決を行うことで、グループ経営ビジョン「変革2027」の目指す「鉄道起点からヒト起点のサービスへの転換」の実現を目指していく考えである。